

3. 在ギリシャ日本国大使公邸訪問

今回の視察において、さらに在ギリシャ日本国大使館を訪問し、西林万寿夫閣下ご夫妻にお目にかかることができました。西林大使より、ギリシャの気候、食文化、生活様式、国民性などについてお伺いし、2004年アテネオリンピックの効果とその後のギリシャ国政・経済への影響について、対日本との経済関係などについて様々な質疑をさせていただきました。



<西林大使ご夫妻と>

西林大使からお伺いしたが、アテネオリンピックのレガシーのひとつにアテネクラシックマラソンがあげられるとのことだ。今年で31回目の大会となり、アテネオリンピックの翌年には約4,000人の参加登録者であった大会が、オリンピックを契機として毎年増加し続けている。今年には国内外も含め、30,000人を超す参加者にまで拡大しているとのことだった。因みにこの大会の女子の記録保持者は野口みずきさんである。



<西林大使からのご挨拶>

まで疾駆したことが競技のルーツである。1896年の近代オリンピック初の大会でギリシャ人が金メダルを獲得した、まさにギリシャの歴史的な競技であると感じた。大使は、ギリシャ大使就任以前には、外務省文化交流大使として東京オリンピック招致活動にも携わっておられた。東京五輪招致活動のご苦勞などについての様々なお話をお伺いできた。日本を離れ、日本とギリシャとの架け橋として、両国の発展、国際平和にご貢献されている西林大使のさらなるご活躍を期待する次第である。

マラソンは紀元前490年の Marathon の戦いにおいて、ギリシャ軍の勝利を知らせるために兵士がアテネ